

北陸新幹線早期全線開業実現決起大会決議

北陸新幹線は、首都圏、北陸圏及び関西圏をつなぎ、各地域間の交流・連携を強化し、我が国のさらなる成長・発展を支えるとともに、東海道新幹線、リニア中央新幹線とあわせて、東京・大阪の2大都市圏をつなぐ国土軸の3重化により、首都機能のバックアップ体制の整備、大規模災害に強い国土形成に資する極めて重要な高速交通インフラである。

北陸新幹線の敦賀・新大阪間は、環境アセスメントの手続きが開始されたところであるが、未だ事業着工の目途が立っておらず、我が国の持続的な成長や国土の強化、東京一極集中の是正の観点からも早期着工、早期全線開業が必要不可欠である。

また、北陸新幹線がつながる新大阪駅は、東海道、リニア中央、山陽新幹線が結節し、スーパー・メガリージョン構想の西日本の核として、全国各地をつなぐ新幹線ネットワークのハブ機能を果たす役割が期待されている。このため、国においても、地方創生回廊中央駅構想へ位置づけられ、駅周辺地域が都市再生緊急整備地域の候補地域となるなど大きなポテンシャルを有しており、駅位置を早期に確定するとともに、利用者の利便性を最大限確保した駅の機能強化が必要である。

よって、我々は、最後の未着工区間である敦賀・新大阪間の早期全線開業の実現に向け、次の事項について、一致協力し、強力に働きかけるものとする。

- 一、新大阪駅まで一気に整備し、一日も早く全線開業すること。
- 一、敦賀・新大阪間を整備するための財源を早期に確保すること。
- 一、環境アセスメント手続きを遅滞なく、着実に進めること。
- 一、環境アセスメント手続き完了後、間断なく事業着工すること。
- 一、新大阪駅の機能強化のため、地元自治体、経済団体等とも十分に連携しながら地方創生回廊中央駅構想の実現を図ること。

以上、決議する。

令和元年6月14日

北陸新幹線早期全線開業実現大阪協議会